

『これからの^{とき}時代を生きる君たちへ』

校長 西村 伸二

Yaa! 杉総生の皆さん。元気にしていますか。本来なら、この時期は夏季休業日中なのですが、終業式まであともう少しだけ頑張りましょう!

学校を再開してから、皆さんの多くはマスクの着用、手洗いの励行、三密を避けるなど、「新しい日常」を意識して行動してくれています。ありがとうございます。大事ななのは、「うつらない。」「うつさせない。」こと。そのために何をしなければならないかを一人一人が考えて行動することです。一人一人の「行動変容」です。それは、危機感をもって、自分と周りの人そして、その先にいる人を守るための行動をとることです。その行動が世界中の人を守ることにつながるということをしっかりと感じて自覚してください。



イタリアのミラノにあるアレッサンドロ・ヴォルタ高校のドメニコ・スキラーチェ校長先生が、休校を伝える「生徒への手紙」の中で、「デマにだまされるな。」「もっとも大切なのは、人間らしい思いやり。」と14、17世紀のペスト流行時の教訓から学ぶよう呼びかけました。そして、『「これから」の時代を生きる君たちへ』という本を著しました。「追伸ー日本の生徒たちへ」と題したメッセージを書いています。ここに紹介します。

この危機を乗り越えたとき、皆さんはきっと変わっていることでしょう。よい方向に変わることができるかもしれません。もっと自覚をもった、もっと素晴らしい人間になることができるかもしれません。本を読み、考えることで、この孤独な長い日々を無駄に失われた時間にせず、有益で素晴らしい時間にしましょう。

イタリアの生徒たちにとっても、日本の生徒たちにとっても、そうであってほしいと思います。

皆さんの幸運を、心よりお祈りいたします。

ドメニコ・スキラーチェ